

# ごみ削減施策と課題

## 幅広い年代へ啓発



都築 清子 議員  
(公明党)

来年度までに家庭系ごみ20%削減目標は住民の理解と協力が欠かせない。本町の本気度はいかに。

**問** 説明会後の住民の声や、ごみ出し状況。

**答** 「ごみや資源を出すときの参考になった」、「燃えるごみだと思っっているものの中にも、まだ資源になるものがある」などの声に手ごたえを感じている。

昨年度と比較して、プラスチック製容器包装の収集量は増加しているが、燃えるごみは減少していない。

**問** 回収業者や行政協力員と定期的に話し合いはされているか。

**答** 収集業者と意見交換しており、行政協力員とは個別事例など意見交換の機会がある。

**問** 草や剪定枝の堆肥化の調査研究進捗状況。

**答** 刈草・剪定枝の出し方や収集方法・処理方法など近隣市町の状況や収集業者等の意見を参考に、調査研究を進めている。

**問** 子ども達へ啓発するなど、啓発の創意工夫が必要ではないか。

**答** ごみ減量に対する取り組みは、ごみを出す方々に広く理解をしていただく必要がある。今後様々な機会に幅広い年代の方々に啓発していく。

**問** ごみ出しが困難な高齢者や障がい者世帯への支援。

**答** 現行の収集体制では、戸別に収集することは困



分別の確認をしながら作業する資源ごみ収集業者



PRのため配付された生ごみ水切り袋

## がん教育と、がん患者支援

### ワクチン再接種費用助成

子どもの頃から、命の大切さと正しい知識を学ぶ必要がある。

ふたりに一人は「がん」になる時代。実際には「がん」と闘っている人への支援が必要。

**問** 県の「がん教育」事業に来年度も阿久比中学校が応募したらどうか。

**答** 来年度、県によるがん教育モデル講座実施校の募集があれば、是非応募したい。

**問** 治療する人への生活の質の観点から、医療用ウィッグの購入費助成。

**答** 医療用ウィッグに対する助成は、全国で数県、数十市町村が実施している。

愛知県や近隣市町の動向を見ながら、調査研究していく。

**問** 治療で免疫を失った子どもの予防再接種の助成。

**答** 病気治療後の免疫喪失による再度の予防接種は「任意接種」となり、現在、町の助成制度はない。

来年度に向けて助成を行う方向で進めている。

